

陳 情 番 号	99
付託先委員会	総務文教委員会
審 査 結 果	

浜田市議会議長様

公共施設状況調査（総務省）の経年比較表の数値と浜田市のホームページの数値の違いについて、分かりやすい説明を求める陳情

総務省では、全国の自治体の様々な数値についての報告をもとに、それらをまとめたものを公表しています。この中に、公共施設状況調査というものがあり、各自治体のハコモノの総量を毎年載せています。

浜田市でも毎年度、公共施設のうち、一般会計における行政財産について推移を公表しています。

浜田市の公表している数値は一般会計における行政財産だけなので、総務省への報告とぴったり一致しないことに不思議はありませんが、総務省への報告のうちの行政財産の増減高とは高い相関関係にあるはずではないかと思えます。

しかし例えば令和2年度、総務省への報告は行政財産の建物が18,034㎡減ったと報告していますが、市の公共施設等総合管理計画での公表内容から計算すると、1,334㎡の減少です。調査の時期が10月1日か3月末かの違いがあっても、次の期には反映しなければならないため、不自然です。また、令和2年度には高度衛生管理型7号荷捌所が完成しており、これだけでも約8,100㎡の増加があったはずですが、一般会計における行政財産（指定管理で運用）なのに面積計算に入っているように見えません。

令和4年度以降、4号荷捌所、ゆうひパーク浜田も取得しており、浜田市のハコモノ総量は、さらに10,000㎡以上増えていると考えられます。前年度末の数値を総務省が秋には公表するため、年度が変われば市として取りまとめた数値を報告なさっているはずで、遅くとも6月か7月には前年度に何がどれだけ増えたり減ったりしたのかを把握し、市の計画とも照らしてチェックなさっていると思えます。

毎年度、行政財産の推移について総務省への報告内容と市の公表している内容の差がかなりありますが、この理由について、わかりやすい説明を行っていただけるよう働きかけてくださるようお願い申し上げます。

2023年6月1日

浜田市国分町

三島淳寛

